

仏像は、人々が「ほとけのすがた」を想像し、礼拝の対象としてふさわしい、あるいはこうあって欲しいと思うすがたを造形化したものです。そのため、面長で痩せていたり、丸々とふくよかだったり、そのスタイルは造られた時代や地域によって様々です。

ここでは、当館寄託の優品の中から特に大阪の仏像を一堂に、そして大阪市立美術館所蔵山口コレクションを中心とする中国・南北朝時代の石造仏教・道教彫刻を展示しています。

[大阪の仏像]

関西で「仏像」というと奈良や京都をイメージされる方が大多数ですが、大阪にも数多くの優れた仏像が現存しています。大阪市内では第二次世界大戦の空襲にも耐えぬいた平安・鎌倉時代にさかのぼる仏像が少なくありませんし、大阪府下には歴史ある古刹が点在しているのは皆さんご存知のとおりです。本展ではこうした大阪の寺社に伝わる仏像を展示しています。

□ 第一室

重要文化財	木造	四天王立像	平安時代 [12 世紀]	茨木市・大門寺
	木造	阿弥陀如来坐像	平安時代 [12 世紀]	茨木市・大門寺
重要文化財	木造	不動明王立像	平安時代 [12 世紀]	河内長野市・河合寺
重要文化財	木造	毘沙門天立像	平安時代 [12 世紀]	河内長野市・河合寺
重要文化財	木造	千手観音菩薩立像	平安時代 [12 世紀]	河内長野市・河合寺
	木造	地藏菩薩立像	平安時代 [10 世紀]	大阪市・三津寺
	木造	毘沙門天立像	平安時代 [12 世紀]	大阪市・三津寺
	木造	十一面観音菩薩立像	江戸時代 [17 世紀]	大阪市・三津寺

□ 第二室

重要文化財	木造	阿弥陀如来坐像	鎌倉時代 [13 世紀]	大阪市・専修寺
	木造	釈迦如来立像	鎌倉時代 [13 世紀]	守口市・来迎寺

木造	十一面観音菩薩立像	鎌倉時代 [13 世紀]	大阪市・四天王寺
木造	聖観音菩薩立像	平安時代 [12 世紀]	本館蔵[田万コレクション]
木造	観音菩薩坐像	江戸時代元禄 15 年[1702]	大阪市・舍利尊勝寺

□ 第三室

木造	熊野十二所権現立像	鎌倉—南北朝時代 [14 世紀]	茨木市・大門寺
木造	蔵王権現立像	南北朝時代 [14 世紀]	茨木市・大門寺
重要文化財	金銅 菩薩半跏像	白鳳時代 [7 世紀]	河内長野市・観心寺
木造	女神坐像[伝聖徳太子像]	平安時代 [9～10 世紀]	島本町・若山神社
重要文化財	木造 釈迦如来坐像	平安時代 [11～12 世紀]	豊中市・東光院
木造	閻魔王坐像	鎌倉時代 [13 世紀]	堺市・正明寺
重要文化財	銀鍍金透彫 光背	鎌倉時代 [13 世紀]	大阪市・四天王寺

[中国の石造彫刻]

本展示室では、今から 1400 年以上前の中国南北朝時代なかでも北魏^{ほくぎ}の作品を中心にご覧いただきます。北魏(386-534)は北方遊牧騎馬民族・鮮卑^{せんび}の氏族タクバツにより樹立された国です。5 世紀中頃より北魏は仏教によって領域支配を強化する方針をとり、それに伴い各地で盛んに仏像が造られました。北魏の滅亡後は、東魏^{とうぎ}—北齊^{ほくせい}そして西魏^{せいぎ}—北周^{ほくしゅう}へと南北に分かれますが、このころになると短い周期で仏像のスタイルが変化をみせると共に、地方ごとに独自の造形を生み出すようになりました。

石造	如来坐像	北魏 ^{ほくぎ} ・天安元年 [466]	本館蔵[山口コレクション]
石造	菩薩交脚像龕 ^{がん}	北魏 [5 世紀後半]	本館蔵[山口コレクション]
石造	太子半跏思惟像龕 ^{はんかしい}	北魏・太和 16 年 [492]	本館蔵[山口コレクション]
石造	菩薩三尊像	北魏・延昌 4 年 [515]	本館蔵[山口コレクション]
石造	如来三尊像	西魏 ^{せいぎ} ・大統 8 年 [542]	本館蔵[山口コレクション]

石造 如来三尊像		西魏 [6 世紀中頃]	本館蔵[山口コレクション]
石造 如来三尊像		北魏・景明元年 [500]	本館蔵[山口コレクション]
石造 如来三尊像		北魏 [6 世紀前半]	本館蔵[山口コレクション]
石造 如来坐像		北魏・太和 18 年 [494]	本館蔵[山口コレクション]
石造 如来三尊像		北魏 [6 世紀前半]	本館蔵[山口コレクション]
石造浮彫 供養人行列図	河南省龍門石窟古陽洞将来	北魏・永平 4 年 [511]	本館蔵[山口コレクション]
石造浮彫 維摩坐像	山西省天龍山石窟第 3 窟将来	東魏 [6 世紀中頃]	本館蔵[山口コレクション]
石造浮彫 菩薩半跏思惟像	天龍山石窟第 3 窟将来	東魏 [6 世紀中頃]	本館蔵[山口コレクション]
石造 河神坐像	河北省北響堂山石窟中洞将来	北齊 [6 世紀中頃]	本館蔵[山口コレクション]
石造 供養比丘坐像	北響堂山石窟南洞将来	北齊 [6 世紀中頃]	本館蔵[山口コレクション]
石造 如来坐像		北魏—西魏 [6 世紀前半]	本館蔵[山口コレクション]
石造 道教三尊像		北魏・延昌 4 年 [515]	本館蔵[山口コレクション]
石造 道教四面像		北魏・永熙 3 年 [534]	本館蔵[山口コレクション]
石造 三尊像		北魏・永平 3 年 [510]	
石造 道教四面像		西魏・甲戌銘[554]	本館蔵[山口コレクション]
石造 四面像		北周・保定 3 年 [563]	本館蔵[山口コレクション]
石造 菩薩五尊像龕		北周・保定 5 年 [565]	本館蔵[山口コレクション]
石造 菩薩三尊像		東魏・武定 7 年 [549]	本館蔵[山口コレクション]
石造 菩薩五尊像		北齊 [6 世紀中頃]	本館蔵[山口コレクション]
石造 如来三尊像龕		北齊・天保 8 年 [557]	本館蔵[山口コレクション]

□ 山口コレクション中国彫刻

関西の実業家であった山口謙四郎氏(1886-1957)が大正から昭和初期にかけて一代で収集した、仏教・道教造像 125 点からなる世界的規模の中国石造彫刻コレクションです。山口氏は旧山口銀行(現、三菱 UFJ 銀行の一部)の創業者・山口吉郎兵衛氏の四男として大阪船場で生まれ、関西信託社長や関連企業の役員を務めました。そして中国の石造彫刻に強い関心を示し、南北朝時代なかでも北魏を中心に、当時まだ研究の進んでいない地方的な作品も含め網羅的に収集しました。